

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月31日
南信州地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	4	課題区分	C		
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 林務課
事業名	竹取再生促進事業 ～地場産メンマの生産振興～			電話	8-237-2438
				E-mail	minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	放置竹林に対する地域住民等の自主的な竹林整備及び竹資源の利活用の取組を促すことで、リニア新時代に向けた景観形成やメンマ等新たな地場産品の産地化を目指す。			
	現状と課題	プラスチックの普及による竹林利用の減少、安価な中国産タケノコの流通増加等の影響により放置竹林が目立ってきており、リニア新時代に向けて、地域の景観形成や竹資源活用が求められている。			
	内容 (変更後の内容)	○地場産メンマ加工技術講習会の開催 (第1回)メンマの原料となる若竹(放置竹林の整備翌年以降に生え出てしまう若竹)の収穫及び塩漬け、 (第2回)並びに味付けに必要な技術の講習会を開催する。 ○『竹取再生オープンミーティング』の開催 各地域団体等で加工した地場産メンマ等を持ち寄って、今後の地場産メンマの生産振興に向けて意見交換を行う。			
	事業期間	令和元年6月		～	令和元年12月
	成果目標 (成果指標)	・メンマ加工に取り組む地域団体: 1団体→5団体			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	メンマ加工技術講習会開催	若竹収穫や味付け加工等の講習	66,000		
	『天竜いなちく』オープンミーティング開催	地場産メンマ加工団体による意見交換会	88,400		
	合 計		154,400		
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価		
	○メンマ加工技術講習会を、6月9日(日)と7月28日(日)に開催。若竹の収穫～塩蔵、味付けまでを実習で学んでいただいた。 ○「竹取再生オープンミーティング」を10月31日(木)にエス・ボードで開催。第1部では「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」ほか、管内で竹林整備等に取り組む先駆者による発表及び意見交換を、第2部では地元の天竜いなちくや他県の国産メンマのほか、アレンジ調理品を試食しながら意見交換を行った。	○メンマ加工技術講習会参加者: 第1回:約80名、第2回:約70名 ○竹取再生オープンミーティング参加者:約70名 ○期待以上に多くの方に参加いただき、メンマ加工、ひいては竹林整備に興味や意欲を持っていただけることができた。また、メンマ加工や竹林整備の輪を少しずつ広げることができた(取組予定団体:5団体)。	<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下		
今後の方向性	○地域住民に対し竹林整備等の意欲を喚起するため、竹林整備技術や竹資源活用策の普及指導に取り組む。特に、地場産メンマは、継続した竹林整備の取組に有効な活用策のため、その普及促進に取り組むとともに、取組団体の連携の輪を広げていく。				